

(2) - 2) ①ヒメサユリの小径整備と地域づくりのイメージ利用（新潟県三条市）

新潟県三条市では、市民によるヒメサユリの保全を通じて、ハイキングコースを整備し、観光や地域イベントに活用している。またヒメサユリイメージを利用した行政事業を実施するなど地域づくりに役立っている。



写真：三条市高城のヒメサユリの群生
(三条市ホームページより)

a. 取組の背景と経緯

三条市下田地区高城城址周辺の里山は昔からヒメサユリの群生地として知られていたが、近年は里山の手入れが十分に行われず、雑草や樹木が生い茂りヒメサユリが見られなくなりつつあった。そこで高城周辺を整備していた「高城保存会」の若手会員が会の活動を引継ぎ「高城ヒメサユリ協議会」としてヒメサユリ保護をテーマにした草刈りや間伐、遊歩道づくり等の里山保全活動を開始した。



図：三条市ヒメサユリの小径と周辺マップ（新潟県三条市ホームページより）

b. 活用の方法

■ハイキングコース活用

高城城址につながる里山を整備し遊歩道を設置。「ヒメサユリの小径」と名付け発信している。里山ハイキングを楽しむ人だけでなく城跡を見学に来る人も利用している。ヒメサユリの群生がみることができることから、県内でも有名な散策コースとなっており、観光利用もされている。

■お祭りなどのイベント活用

5月中旬頃の開花期に行われる越後三条・高城ヒメサユリ祭りは、県内外から約6千人以上が訪れ、環境保全

活動に加え、自然とふれあう場の提供という面でも寄与している。また、ヒメサユリの苗や山菜の販売なども行われている。

■行政事業のシンボル活用

市の自然の豊かさのシンボルとして、市営の様々な取組のネーミングに活用している。例えば市情報交流事業「ひめさゆりメール」、市デマンド交通「ひめさゆり」などがある。

c. 保全活動と野生生物への効果

草刈り、登山道のロープ張りによる遊歩道の維持管理、サル等による種子の食害防止のための袋かけなどヒメサユリの保護活動などが継続的に行われるようになった。取組の結果ヒメサユリが再び増殖・群生し開花するようになった。活動成果が認められ新潟県環境賞を受賞するなど高く評価されている。

また、ヒメサユリの群生が見られるということで旅行・観光情報などでも紹介されるなど有名な散策コースになっている。多くの人々が訪れており観光面での活性化効果も顕著に見られる。



写真:保護のため袋かけされたヒメサユリ(三条市ホームページより)